

# 総務教育常任委員会資料

(令和8年4月21日)

〔 件 名 〕

ページ

- 中東情勢に伴う物資供給確保プロジェクトチームの設置について  
【政策企画課】…2
- 国の施策等に関する提案・要望活動等について  
【総合統括課】…3
- 「ぼうさいこくたい 2026・全国知事会議」鳥取県拡大実施本部会議の開催について  
【総合統括課】…4
- とっとり若者活躍局 令和8年度発足式の開催について  
【協働参画課】…5
- とっとり発！情報的健康全国フォーラムの開催について  
【デジタル改革課】…6

令和の改新戦略本部

## 中東情勢に伴う物資供給確保プロジェクトチームの設置について

令和8年4月21日  
政策企画課

中東情勢の緊迫化に伴う県内経済及び県民生活への影響について部局横断で対応するため、「中東情勢に伴う物資供給確保プロジェクトチーム」を設置しましたので報告します。

### 1 プロジェクトチームの体制

- (1) 中東情勢に伴う物資供給確保プロジェクトチーム（チーム長：政策統轄監）  
重油等の価格の動向や物資の供給状況等について、県内業界団体等に対しサーベイランスを行うとともに、供給不安や経営状況に支障が生じている場合は機動的に対応する。

<メンバー>

令和の改新戦略本部、輝く鳥取創造本部、福祉保健部、子ども家庭部、生活環境部、商工労働部、農林水産部

- (2) 県立施設燃油確保特命チーム（チーム長：総務部長）  
プロジェクトチームの内部組織として、県立施設間における燃油の融通を含め、施設の運営継続に向けた対応を検討・実施する。

<メンバー>

総務部、輝く鳥取創造本部、地域社会振興部、福祉保健部、子ども家庭部、農林水産部、教育委員会

### 2 プロジェクトチーム会議の開催結果概要

- (1) 日時 令和8年4月14日（火）  
午後2時から午後2時30分まで
- (2) 場所 第4応接室
- (3) 出席者  
知事、政策統轄監、関係部局長



#### (4) 会議結果の概要

- ・ 庁内に「中東情勢に伴う物資供給確保プロジェクトチーム」を設置し、重油価格や物資の供給状況等の県内動向についてサーベイランスを行うとともに、把握した課題に応じた対策を検討・実施していくことを確認した。
- ・ 県内の状況に応じ、令和8年度当初予算の物価高騰対策（総額22億円）や資金繰り支援策等を機動的に実施するとともに、国に対し要望を行うこととした。
- ・ 県立施設については「県立施設燃油確保特命チーム」において、施設間の燃油の融通や調達手法の変更など運営継続に向けたあらゆる対応を検討し、連携して実施していくことを確認した。
- ・ エネルギー事情を考慮し、省エネ対策を実践する「県庁ハートホット・クールビズ2026」を、例年より半月前倒しして4月15日から開始することを確認した。

#### 参考：「県庁ハートホット・クールビズ2026」（4/15～）

- ノーネクタイ・ノージャケットでの軽装勤務
- 在宅勤務の促進、一斉退庁・一斉消灯の徹底
- 省エネ活動の実践
  - ・ 公用車のエコドライブ（ゆっくり発進、急加速・急減速をしない運転 等）
  - ・ 通勤・出張時の公共交通機関の利用、庁内の節電対策の実践（照明の間引き点灯、ブラインド活用による冷暖房効率の向上、こまめな電源オフ）

# 国の施策等に関する提案・要望活動等について

令和8年4月21日  
総合統括課

国の施策等に関して、以下のとおり提案・要望活動等を実施しましたので報告します。

## 1 単県要望活動

○日程 令和8年4月15日（水）～16日（木）

○要望者 平井知事

<主要な要望>

### ①総務省

要望先 向山淳総務大臣政務官

概要 インターネットでの差別配布等、様々な差別・人権侵害事案を解決するため、実行性のある措置を講じることなどを求めた。  
向山政務官からは、モニタリングも始めており、プラットフォーム事業者にもその実態を確認しながら、今後どのような改善ができるか、関係省庁と議論していくとの発言があった。



### ②経済産業省

要望先 赤澤亮正経済産業大臣兼内閣府特命担当大臣

概要 燃油・ナフサなどの流通の目詰まり解消、供給確保及び価格高騰に向けた対策を情勢に応じ機動的に実施すること、「戦略産業クラスター計画」の本県関係事業の採択・推進などを求めた。

赤澤大臣からは、生活に不可欠な物資の一部に供給の偏りや流通の目詰まりが生じているため、関係省庁に情報窓口を設け、サプライチェーンの情報を分野横断で集約し、一つ一つ確実に解消していく。石破政権時の地方創生に係るインフラ投資を加え、高市政権の地域未来戦略における産業クラスターを全国で形成し、強い経済を構築するという流れが重要と考えており、自治体の皆様の思いや努力にしっかり報いたいとの発言があった。



(参考：4月21日（火）に文部科学省の松本洋平大臣へ次の単県要望を予定)

<要望項目>

- ・私立中学校に通う義務教育段階の生徒への経済的支援について
- ・高等学校教育の抜本的改革について

## 2 全国知事会地方自治・民主主義の確立に向けた研究会による要請活動

4月16日（木）に、平井知事（全国知事会副会長）が参議院改革協議会（石井準一座長）、参議院政治改革に関する特別委員会（櫻井充委員長）に対して、地方自治・民主主義の確立に向けた研究会の報告・提言に基づく要請活動（被選挙権年齢の引き下げ、地方選挙の再統一、合区解消、ネット選挙運動のあり方等を要望）を知事会を代表して実施した。

石井座長からは、合区に対してしっかり協議会の中で議論を進めていく。櫻井委員長からは、合区解消は出来るだけ早く対応し、いずれの提案も是非やっていきたいとの発言があった。

(参考：4月21日（火）以降、下記にも要望予定)

<要望先：総務省、衆議院政治改革に関する特別委員会、衆議院憲法審査会、衆議院選挙制度に関する協議会、衆議院選挙運動に関する各党協議会>



「ぼうさいこくたい2026・全国知事会議」鳥取県拡大実施本部会議の開催について

令和8年4月21日

総合統括課

「令和8年全国知事会議 in とっとり（7月）」及び「ぼうさいこくたい2026in鳥取（10月）」の成功に向けて、全庁を挙げ一体的に推進するため、『「ぼうさいこくたい2026・全国知事会議」鳥取県拡大実施本部』を立ち上げ、第1回会議を開催しました。

- 1 日時 令和8年4月2日（木）午後1時から午後1時20分まで
- 2 場所 第4応接室（県庁3階）
- 3 次第
  - ・鳥取県拡大実施本部体制概要
  - ・「全国知事会議」及び「ぼうさいこくたい」準備状況
  - ・各部局からの発言
- 4 参加者 知事、副知事、政策統轄監、各部局長（人口戦略推進本部、令和の改新戦略本部、輝く鳥取創造本部、男女協働未来創造本部、総務部、危機管理部、地域社会振興部、福祉保健部、子ども家庭部、生活環境部、商工労働部、農林水産部、県土整備部、教育委員会、中部総合事務所、西部総合事務所）



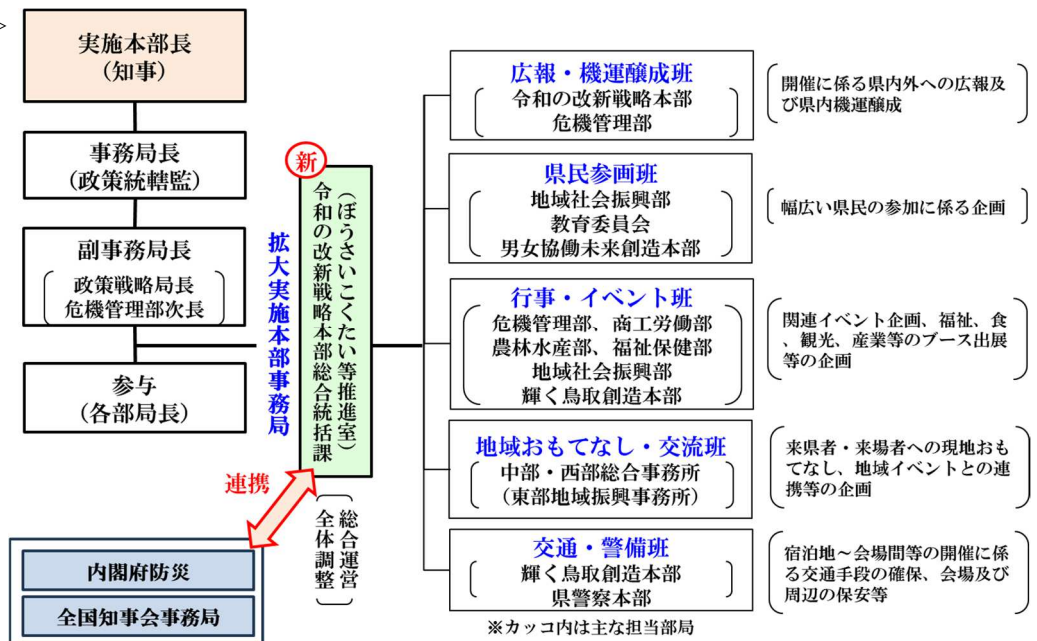
5 拡大実施本部体制

- ・新設された「総合統括課ぼうさいこくたい等推進室」を事務局として、5つの班で構成する。  
（広報・機運醸成班、県民参画班、行事・イベント班、地域おもてなし・交流班、交通・警備班）
- ・各班は開催準備から本番まで部局横断で緊密に連携し、大会成功に向けた準備を着実に進める。

6 主な意見等

- 〔広報・機運醸成〕 ・地域のきずなを大事にした中部地震10年の復興の取組を発信する。  
・高校生活動推進委員会による広報活動やブース出展、ちいわか総選挙等を通じて、若者の防災意識の向上、機運醸成を図る。  
・献血運動推進大会（7月）でPRを行い来場につなげる。
- 〔県民参画〕 ・鳥取建設女☆ネットワーク等と連携したジェンダー視点の企画を検討する。  
・HUG、支え愛マップ体験等、県民参画型のワークショップを実施する。
- 〔行事・イベント〕 ・本県の食の豊かさや産業の魅力を県内外の来場者に発信する。  
・あいサポート運動や手話、障がい者アート等先進的な施策を発信する。
- 〔地域おもてなし・交流〕 ・福高祭や「遥かな町へ」等、地域一体となって来場者のおもてなしを行う。  
・旅マエから旅アトにかけて観光情報や特産品情報を発信し周遊につなげる。
- 〔交通・警備〕 ・東部・西部からの広域輸送、タクシー・ライドシェア等輸送体制を強化する。

<参考：体制図>



# とっとり若者活躍局 令和8年度発足式の開催について

令和8年4月21日  
協働参画課

県内の高校生から30代までのメンバーで構成され、若者の自由な発想と熱いエネルギーで地域課題解決や地域を盛り上げる活動を行う「とっとり若者活躍局」の令和8年度発足式を開催しました。

## 1 発足式及び第1回定例会議の概要

- (1) 日 時 令和8年4月19日（日）午後1時から午後5時まで
- (2) 場 所 鳥取市民交流センター（麒麟 square）多目的室1（鳥取市幸町71番地）
- (3) 出席者 とっとり若者活躍局メンバー47名（コアメンバー42名、サポートメンバー5名）、知事、とっとり未来創造タスクフォース
- (4) 内 容

### ○発足式（任命書交付、代表者決意表明、知事からの激励）

- ・代表（情報発信グループ）林 恵実さん（webデザイナー）  
多くの方が鳥取を訪れたいと思え、県内の方にも鳥取の良さを再発見し愛着を持ってもらえるよう、自身の移住体験も踏まえ、鳥取の魅力をもっとPRしていきたい。
- ・代表（プロジェクトグループ）原田 瑛太さん（倉吉東高2年）  
鳥取の魅力が体験できる場所が少ないこと、若者がどんどん減っている状況を解決したい。自分の好きな鳥取県の魅力が様々な方に伝わるように、1年間頑張りたい。
- ・知事激励の言葉  
皆さんが声を上げ、行動を起こすことで、鳥取は変わる。若者が頑張っていることが見えると、みんな協力してくれる。若者の発想で、鳥取を元気にして、またアピールをしていただきたい。



### ○第1回定例会議（キックオフ）

とっとり未来創造タスクフォースによる県政課題説明等の後、自己紹介、鳥取の押し、鳥取を盛り上げる・元気にするための一手などについてのグループトークを実施し、メンバー同士のコミュニケーションを図った。

## 2 とっとり若者活躍局の体制

- (1) コアメンバー 46名（高校生21名、大学生14名、社会人11名）※過去最多  
月1回程度の定例会議、随時の広聴活動等を行いながら、以下3つのグループで活動。今年度は、若者目線で全国に鳥取の魅力を発信する「とっとりアピールチャレンジ」プロジェクトに情報発信グループを中心に取り組んでいく。
  - ・政策提案グループ：県担当部局との意見交換や広聴活動を踏まえた県への政策提案
  - ・プロジェクトグループ：地域の課題解決や活性化に向けたプロジェクトの企画・実施
  - ・情報発信グループ（R8新設）：地域の魅力や若者の活動を自由な発想で発信するとともに、SNSコンテスト等の企画立案、運営
- (2) サポートメンバー 8名（高校生3名、社会人5名）※サポートメンバーは随時募集・受付  
政策提案のアイデア出しやプロジェクトへの協力など

## 3 今後の主な予定

- 令和8年5月～ 定例会議の開催（月1回程度）、課題意識の共有、プロジェクトの方向性検討  
6月～ 各プロジェクトチームによる活動、政策提案に向けた広聴活動等  
12月 政策提案会（とっとり未来創造タスクフォースと合同）  
令和9年2月 活動報告会（とっとり未来創造タスクフォースと合同）

## 【参考】令和7年度とっとり若者活躍局の活動成果

- ・政策提案11件のうち7件が令和8年度当初予算に反映、その他4件は施策反映等が行われた。
- ・SNS発信力の向上を目的とした人材育成プロジェクト、音楽と食を中心とした若者フェス等7件のプロジェクトを実施し、地域を盛り上げ、鳥取の魅力を広く発信した。

# とっとり発！ 情報的健康全国フォーラムの開催について

令和8年4月21日  
デジタル改革課

コミュニケーション手段として SNS が普及拡大する一方、偽・誤情報や真偽不明な情報に惑わされたり、闇バイトの被害や加担に巻き込まれるなどのリスクが増加しており、大きな社会問題となっています。

本県は、令和7年度より情報を見極めることの大切さを”食”に例えて啓発し、フェイク情報等に対する免疫力を高めていただく『情報的健康とっとりプロジェクト』を開始しており、その取組の一環として情報空間の今と未来について考える「とっとり発！ 情報的健康全国フォーラム」を開催しました。本年度も引き続き、県民の情報リテラシー向上に向けた取組を推進していきます。

1 日時 令和8年3月15日（日） 午後1時から午後4時まで

2 場所 ホテルニューオータニ鳥取（鳥取市）

3 開催 主催：鳥取県  
後援：総務省、慶應義塾大学 X Dignity センター、一財）NHK 財団、報道機関各社（13社）、鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会、県内ケーブルテレビ会社（4局）、県内全市町村（順不同）



基調講演：慶応大学 山本教授

## 4 概要

(1) 開会挨拶 鳥取県知事 平井 伸治

### (2) 基調講演

テーマ：情報空間の現状と『情報的健康』  
～情報的健康プロジェクト共同代表による最新動向～

講師：慶應義塾大学法科大学院教授 山本 龍彦氏  
東京大学大学院工学系研究科教授 鳥海 不二夫氏

### (3) 鳥取県における取組紹介

- ① 鳥取県が推進する情報的健康プロジェクト 鳥取県デジタル局長 下田 耕作
- ② 県内学生が作成した情報的健康啓発メッセージ動画の発表 県内学生



学生作成の啓発動画

学校名	動画タイトル名
鳥取大学	その情報、本当に正しいですか？
公立鳥取環境大学	好きな情報ばかりに触れて「脳が胃もたれ」していませんか？
鳥取看護大学・鳥取短期大学	みんなが言っているから乗っかる。そう思うことはありませんか？
米子工業高等専門学校	あなたの関心と時間、SNS に奪われていませんか？

### (4) パネルディスカッション

テーマ：健全な情報空間を目指して ～情報空間の未来と今後の展望～

登壇者：慶應義塾大学法科大学院教授 山本龍彦氏、NHK 財団チーフ・プロデューサー 木村与志子氏、TikTok Japan 公共政策部長 西村健吾氏、鳥取大学学生 ジョセフ青空氏、鳥取県知事 平井伸治

## 5 参加者の声

- ・情報的健康について自分自身の言葉で語れるよう整理し、周囲へ広めていきたい。
- ・アテンションエコノミー<sup>(※)</sup>により様々な課題が生じている状況がわかった。
- ・インターネットとの付き合い方を考えさせられる機会となった。

※アテンションエコノミー：人々の関心や時間が希少なものとして経済的価値を持つこと

